

# 講演レジュメ

「日本人の知らない中国の現状」

## 1. 18 大人事を揺るがした二人の幹部の落馬

- 薄熙来事件の詳細。
- 令計画という二人の大物の失脚と左遷から始まった人事の波乱。

## 2. 政治局から中央書記処への権限移譲

- 李克強が外交を統括。→張志軍と傅榮の報告を一蹴→40 年前のウイルス。

## 3. 人事に前例はない

- 軍委主席辞任はハプニングではない。
- 胡錦濤と政治局委員の面談。
- 習近平の病気。

## 4. 18 大と 2013 年人事から見る中国の未来

- 実は常務委員のポストは 2 減ではなく 3 増。
- 危機感と自信が共存した結果。
- 記念入閣とコントロールタワーの変化。→配布資料から解説
- 人事は派閥ではなく個人利益（横ではなく縦の論理）。→団派、上海閥は鄧小平閥、太子党での分析は無意味。

## 5. 新政権の最大の問題は格差

- ネット上で「雷十三」、「雷六三」と呼ばれた党幹部の処分。腐敗官僚摘発は痛み止め。

## 6. 共産党には解くことができない不治の病①

- 共産党は鄧小平以前の価値観には戻れない。

## 7. 共産党には解くことができない不治の病②

- 国有企業と官僚機構のもたれ合いがそれを阻む。

2013 年 1 月 16 日

JST 中国総合研究センター第 56 回研究会

講師：富坂聡 氏

## 8. 南方週末事件に見る新しいステージ

- 記者の告発は初めてではない。
- 裏に〈改革共識倡議書〉の存在。
- 戦い方の変化。

## 9. 人民解放軍

- 海洋・宇宙・サイバーを重視する「局地戦力にうち勝つ能力…。小国の戦い」
- 除隊・退役軍人の就職支援にしっかり取り組む。
- わが国を取り巻く～脅威が絡み合っており。経済建設～進展がみられるよう努めなければならない。
- 予備役含め 290 万人が彼らの足を引っ張る。「軍事革命が急速に発展しているという世界の潮流にしっかり追いついて…」
- 他国を占領する戦力ではない。
- 日本との戦いの主戦場はバトルフィールドではない。→宣伝戦（「文藝春秋」2 月号）